

一般

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	森林保護事業			事業コード	1939
担当課等	所属名	玉山総合事務所 産業振興課	担当係名		
	課長名	玉山総合事務所 産業振興課	担当者名	今 芳則	電話番号

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	活力ある産業の振興	コード 5	施策	活力ある農林業の振興	コード 1
	基本事業	生産基盤の整備	コード 2	関連予算 費目名	一般会計 6款 2項 1目 森林保全事業(004-01)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度      ⇒ (開始年度 不明年度～)					
事務事業の概要	森林火災防止や森林の公益性機能の保全を図るため、民有林の巡視及び市民への周知を図る					
根拠法令等						
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
市が民有林の巡視指導を行うことで、森林保全体制の強化及び山火事防止に努められる。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
特になし						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
森林環境保全のために重要であり、継続すべき事業である。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	民有林、市民(玉山区)	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 民有林面積(玉山区)	単位	ha
				B. 民有林人工林面積(玉山区)	単位	ha
				C. 市の人口(玉山区)	単位	人
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) 民有林火災巡視人による山火事防止巡視活動、委託業務による山火事防止広報活動や森林組合により森林保全巡視を行った。  23年度計画(23年度に計画している主な活動)  民有林火災巡視人による山火事防止巡視活動、委託業務による山火事防止広報活動や森林組合により森林保全巡視を行う。	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 民有林火災巡視人(玉山区)の巡視延べ日数	単位	日
				B. 山火事防止広報業務(玉山区)の活動日数	単位	日
				C. 森林管理巡視員(玉山区)による巡視活動日数	単位	日
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	・民有林での山火事防止に努められる。 ・民有林が健全な状態に保たれる。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 森林火災発生件数(玉山区) 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input checked="" type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】	単位	件
				B. 森林火災による被害面積(玉山区) 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input checked="" type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】	単位	ha
				C. 【指標の性格: <input checked="" type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】	単位	
⑦結果 (上位基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するか)	生産性の向上が図られる 生活環境の改善が図られる	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	水田面積(単位: ha) 畑地面積(単位: ha) 樹園地面積(単位: ha) 民有林面積(単位: ha)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	民有林面積(玉山区)	ha	20590	20590	20590	20590	20590	20590	24年度 20590
対象 指標B	民有林人工林面積(玉山区)	ha	8739	8739	8739	8739	8739	8739	24年度 8739
対象 指標C	市の人口(玉山区)	人	13058	12907	12907	12907	12907	12907	24年度 12907
活動 指標A	民有林火防巡視人(玉山区)の巡視延べ日数	日	47	43	45	30	45	45	24年度 45
活動 指標B	山火事防止広報業務(玉山区)の活動日数	日	6	6	6	6	6	6	24年度 6
活動 指標C	森林管理巡視員(玉山区)による巡視活動日数	日	60	60	60	60	54	60	24年度 60
成果 指標A	森林火災発生件数(玉山区)	件	0	2	0	0	0	0	24年度 0
成果 指標B	森林火災による被害面積(玉山区)	ha	0	2	0	0	0	0	24年度 0
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	1,149	1,044	1,044	916	1,033	1,033	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	1,149	1,044	1,044	916	1,033	1,033	*****
	⑧その他	千円							*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	1,149	1,044	1,044	916	1,033	1,033	*****
	延べ業務時間数	時間	240	240	240	240	240	240	*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	960	960	960	960	960	960	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	2,109	2,004	2,004	1,876	1,993	1,993	*****


3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 森林法により、民有林の適正な管理は市町村の事務とされている。巡視によって山火事の防止や森林の現況把握を行い、生産性が向上する。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 森林の公益的機能の低下は直接市民生活に影響を及ぼすと考えられる。
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくていいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 玉山区のすべての民有林を対象にしており、拡大や縮小の必要はない。
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 森林法により、民有林の適正な管理は市町村の事務とされている。
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容: 巡視内容を充実させれば、詳細な森林現況把握が可能となる。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 森林の適正な保全活動が行われなくなり、森林の公益的機能
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input type="radio"/> 類似事業がある <input checked="" type="radio"/> 類似事業がない	事業名: _____ ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない 理由:
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 委託料は現状で適正なものであり、削減するには巡視回数を減らすこととなり、森林保全上適当とはいえない。また、人夫賃金の低下は、巡視人の作業意欲低下を招く可能性がある。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 適切に事務を遂行するために最低限の時間数と考えられるため、削減の余地はない。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 玉山区のすべての民有林が対象となっているため、公平・公正な状態にある。
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 森林法により、民有林の適正な管理は市町村の事務とされている。受益者に費用負担を求める性格の業務ではない。

#### 4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1, 代替案その2とすること 巡視により収集する情報を再検討する。</p> <p>②改革, 改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか? それをどう克服していきますか? (関連部門や全庁的な調整の必要性, トップへの要望も含む) 厳しい財政事情のため, 委託料・人夫賃金の増加は見込めない。現状の委託料の範囲内で巡視内容の改善を図れるよう, 委託先・巡視人に相談・依頼する。</p>
---------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

#### 5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <p>① 必要性      ● 妥当              ○ 見直し余地あり ② 有効性      ○ 妥当              ● 見直し余地あり ③ 効率性      ● 妥当              ○ 見直し余地あり ④ 公平性      ● 妥当              ○ 見直し余地あり</p>	<p>(2)全体総括(振り返り, 反省点)</p> <p>民有林保全を目的として, 自然災害予防, 病害虫調査等, 森林巡回の実施により森林の健全育成に努めている。</p>										
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">→</td> <td><input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td><input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携</td> </tr> </table>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	→	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う			<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	→	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)									
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止		<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う									
			<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携									
												
<p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>平成22年度において, 森林保全巡視の業務委託の見直しを実施したところであるが, その検証を行うとともに引き続き, 見直し改善を行い, 効率的な巡視に努めてまいりたい。</p>												